

仏事の常識・非常識

Q：坊守とは、何と読みますか？

A：「ぼうもり」と読みます。

私たちお寺のものにすれば、当たり前前にしていることでも、皆さんからすればよく分からないことたくさんですね。

当かわら版の発行責任者の欄に書いてある「坊守」も、その一つかと思えます。なぜなら「ぼうしゅ」さんと読む声を耳にしたことがあるからです。

正しくは、「ぼうもり」と読み、浄土真宗のお寺における住職の妻を言い表します。坊は、僧侶の住まいや、僧侶を意味します。それらを守る、寺院の番人と言った意味になります。

では浄土真宗以外の宗派で、住職の妻は「大黒(だいこく)さん」と呼ばれます。七福神の一人大黒天は食厨の神とされ、浄土真宗以外の宗派では台所に大黒天を祀っていたので、妻帯を許していない宗派で、妻の存在を隠すための隠語として「大黒さん」と呼んだとも伝えられています。宗祖が妻帯したおかげで、浄土真宗では隠語を使わず「坊守」の独自性があります

*****ハッピープレゼントクイズ*****

クイズに答えて景品をゲットしよう！

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポツドをプレゼント。

問：二回目のアメリカ大統領になったトランプさんが、「(彼の)辞書の中で最も美しい言葉」と語った、その言葉とは何か次の中から選びなさい。

- ① メラニア夫人
- ② アメリカ湾
- ③ 関税



答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキかファックスで徳成寺まで送って下さい。ファックスの受付は、朝8時～夜9時までです。

〒760-0017高松市番町2-13-25

徳成寺ハッピープレゼントクイズの係までふるつて応募下さい。毎月22日締切。当選者の発表は、景品の発送に代えさせて頂きます。

*先月の答え、③の照ノ富士関でした。長い間、横綱としてお疲れ様でした。

*****坊守の月イチブログ*****

糖尿病が治った猫

たまに聞いて聞いたことがありますよ、スゴいですね「糖尿病が治った猫」

数値がとともよく、健康な猫と同じくらいにまで戻るのだそうです。それはどこの誰ですか？それはうちの猫のニャーです。

先日、血液検査の結果を聞いて確認できました。もちろん、まだ血糖値を下げる薬はのんでいます。それも様子を見て、毎日飲んでるのを隔日にするか、量を減らすか、というところまで話が進んでいます。

人間の糖尿病は治りませんが、猫は稀にいます。御年二十歳、老いて益々元気なニャーにいつも勇気づけられます。

